

佳作

ひとりりでできたよ

鹿児島県 鹿児島市立八幡小学校一年 上杉 咲七

「ふたりでコーヒーをかいにいつてくれない？」と、おじいちゃんが、わたしと三ねんせいのおこにいました。

「いいよ。」

いとこが、へんじをして、おじいちゃんから、三〇〇えんをもらいました。コーヒーやさんは、おうちからともちかいところにあります。くつをはいてそとへでました。いとこのうしろをついてあるいていくと、あっというまにつきました。

「コーヒーのMサイズをひとつください。」

と、いとこがいつて、コーヒーをうけとり、もとのみちをもどり、おじいちゃんへとどけました。

「ありがとうございます。」

と、とてもよろこんでいました。

すうじつご、またおじいちゃんが、

「コーヒーをかいにいつてくれない？」

と、わたしにいました。そのときわたしはひとりだったので、

「ひとりだからいけない。」

と、ことわりました。だけど、すこしかんがえて、いつてみようかなとおもい、

「やっぱり、わたしいつてみる。」

といつて、三〇〇えんをもらうとむねがドキドキしてきました。くつをはいてそとへでました。コーヒーやさんまでのみちを、ひとりであるいていくと、ワクワクにかわりました。

「コーヒーのMサイズをひとつください。」

というと、てんいんさんが、

「あれ、きょうはひとりなの？すごいね。」

と、マンゴージュースをサービスしてくれました。

つめたくて、あまくてとくべつなあじがしました。コーヒーをうけとり、もとのみちをもどり、おじいちゃんへとどけました。

「ありがとうございます、すごいね。」

と、ごほうびにアイスクリームをくれました。

たべながら、ひとりできてやったね！と、じぶんをほめました。